

# 大多喜小学校だより

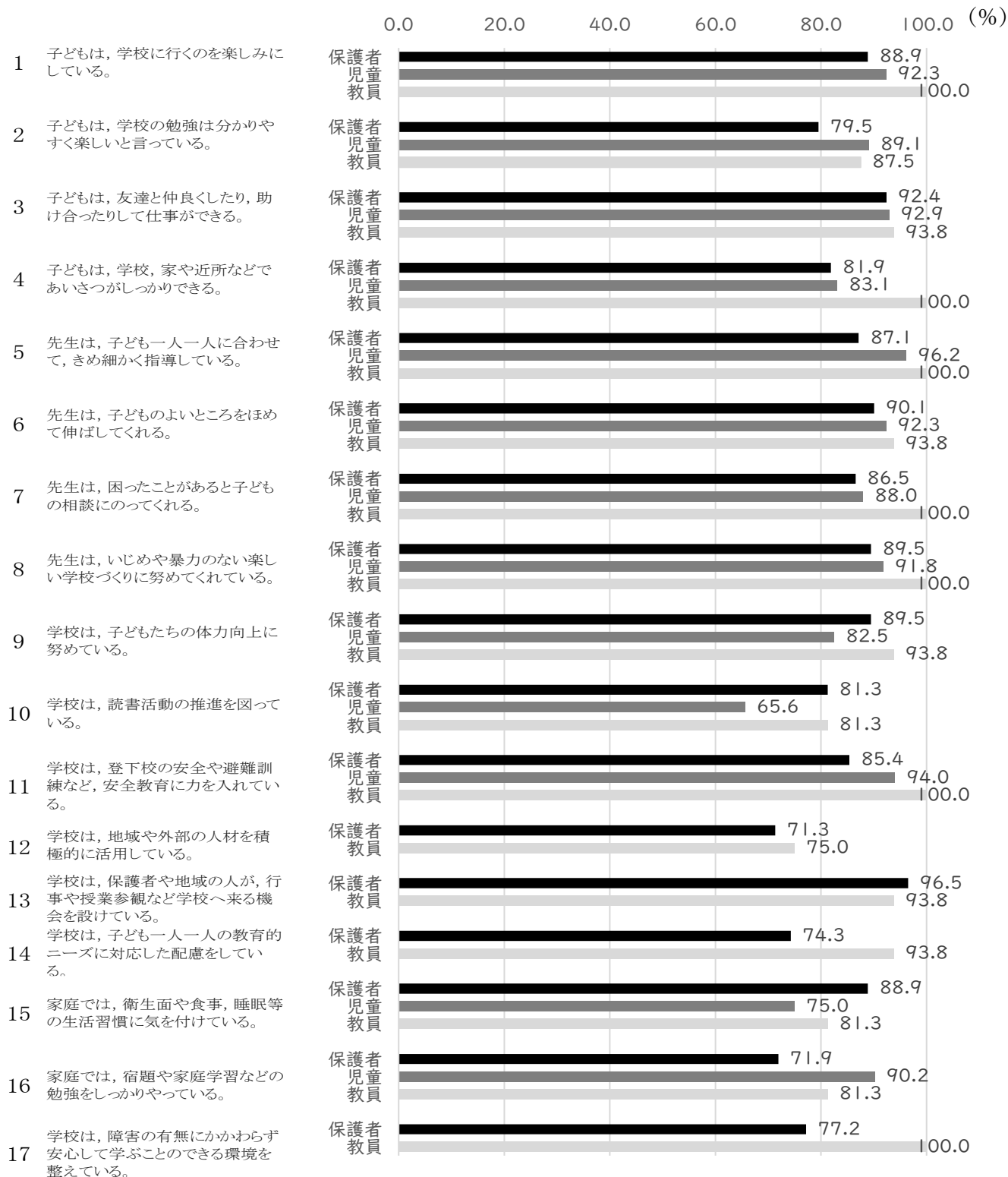


電話番号 82-2804 FAX 82-2968  
 ホームページ <http://www.chiba-a.jp/otakies/>

学校だよりNo.12  
 令和8年2月16日

## ☆学校評価保護者アンケート結果の考察（令和7年度・後期）

保護者アンケートへ御協力いただきましてありがとうございました。結果と考察についてまとめました。保護者の皆様の貴重なご意見は、今後の学校経営に生かしていきます。



## [児童] ①～④

- ・①「学校に行くのが楽しみ」については、保護者88%、児童92%（前期88%）と肯定的な回答が、高い数値を維持しています。多くの子供たちが前向きな気持ちで登校できていることを大変うれしく思います。今後も安心して過ごせる学校づくりを大切にしていきたいと思います。
- ・②「勉強がわかりやすいと感じる」については、保護者79%、児童89%で前期とほぼ同様の結果となりました。一方で、わかりにくさを感じている児童も少数ながらおりますので、つまずきや困り感を早期に把握し、個々に寄り添った指導を継続していきます。
- ・③「友達と仲良くしたり、助け合ったりしている」については、保護者・児童92%と高い評価をいただきました。日々の学級活動や行事を通して、思いやりの心が育っていることがうかがえます。今後も互いを大切にする人間関係づくりを大切にしていきます。
- ・④「挨拶」については、保護者81%、児童83%が肯定的な回答でした。挨拶運動や日常的な声かけの成果が表れてきていると感じます。今後も学校と家庭が連携しながら、気持ちのよい挨拶が広がるよう取り組んでまいります。

## [教師] ⑤～⑧

- ・⑤「きめ細かく指導している」保護者87%、児童96%と肯定的回答が、維持されています。担任を中心に、児童一人一人に寄り添った支援が評価されていることを励みに、今後も丁寧な指導を心がけていきます。
- ・⑥「先生は褒めてくれる」については、保護者90%（前期84%）、児童92%と高い数値を維持しています。子供たちのよさや努力を認め、自己肯定感を高める関わりを引き続き大切にしていきます。
- ・⑦「相談にのってくれる」については、保護者、児童とも高い数値となりました。スクールカウンセラーとの全員面談、相談窓口の周知などを継続し、いつでも相談しやすい環境を整えていきます。
- ・⑧「いじめや暴力のない学校づくりに努めている」については、肯定的回答89%（前期78%）と高い数値となりました。学校では月1回のアンケートや個別面談などを通して早期発見・対応に努めています。今後は、取組の内容についても、より分かりやすくお伝えできるよう工夫してまいります。

## [学校] ⑨～⑭

- ・⑨「体力の向上」については、保護者89%（前期82%）、児童82%と、保護者の評価が前期より向上しました。日常の運動や体育の授業、外遊びの推進などの取組が一定の成果を上げていると考えられます。
- ・⑩「読書活動の推進」については、肯定的回答81%と高い評価をいただいています。朝読書や読み聞かせ、図書館との連携などを継続していますが、児童の読書量には個人差も見られるためか低い数値（65%）を示しています。今後も読書の楽しさを実感できる取組を工夫していきます。
- ・⑪「安全教育」については、保護者85%、児童94%と高い評価でした。各種避難訓練や交通安全教室などを通して、安全意識の向上が図られています。通学路の安全対策についても、PTAや関係機関と連携しながら引き続き改善に努めてまいります。
- ・⑫「地域人材の活用」については、「わからない」という回答も一定数見られましたが、前期より改善しています。読み聞かせや環境整備、調理実習補助など、地域の皆様の御協力に心より感謝申し上げます。次年度は地域ボランティアを活用していく予定です。活動の様子をより積極的に発信していきます。
- ・⑬「学校へ来る機会」については、96%と高い評価となり、学校公開や行事を通して保護者の皆様に学校の様子を知っていただく機会が確保できていると考えます。
- ・⑭「教育的ニーズに対応した配慮」については、肯定的回答74%（前期69%）、「わからない」17%（前期22%）でした。支援の内容が見えにくい面もあると考えられるため、担任との情報共有や日常の連絡を通して、より理解していただけるよう努めてまいります。

## [家庭] ⑮～⑰

- ・⑮「生活習慣に気を付けている」については、保護者88%、児童75%でした。ご家庭でのご支援に感謝申し上げます。引き続き、規則正しい生活が学習意欲や体調管理につながるよう、学校でも指導を続けていきます。
- ・⑯「宿題や家庭学習をしっかりとやっている」については、保護者71%、児童90%と認識の差が見られました。家庭学習の質を高めるためにも、家庭と学校が連携しながら、励ましと声かけを続けていければと考えています。
- ・⑰「障害の有無にかかわらず安心して学ぶ環境」については、肯定的回答77%、「わからない」17%（前期20%）でした。今後は、どのような支援や配慮を行っているのかを、より具体的にお伝えできるよう検討してまいります。